和田争議ニュース

NO.3 昭和六年七月十日
日本労働組合総聯合
横浜一般労働組合
川島
里吉町三丁目十八番地

争議はダンゼン争議團側のリードだ！
虎の威をかる山下クン悲鳴をあげた一幕！

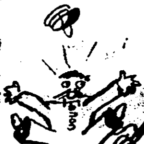
争議は今日で五日だ、一度和田争議団の悲壮な戦の報知れ渡るや、各方面から闘士の応援、寄附や激励の手紙が積込んで来る。本部には神戸聯合会、六日の夜には中央の闘士ワレラの近藤栄蔵氏、石井氏がわざわざ応援に来られた。甚だ激励の辞を述べ諸君の元気と争議団の元気を[illegible]。毎夜本部附近は[illegible]印刷工諸君が[illegible]どうして戦ふか[illegible]山下氏は何と許り出さうしたか迷争戦に変幻

八日の午後、[illegible]の諸のかかる北代表者を呼び出した。川島、後見人等が本部の者と共に警察へ行っておる。八日代表者は工場へ出かけた。山下は工場へ出した。[illegible]との交渉、県庁へ[illegible]。山下クン[illegible]代表者に[illegible]狸の山下クン平素に[illegible]タイプ[illegible]威張り[illegible]要求[illegible]

求は全部容れる事は出来ない、職工は働らくと思ってゐたのに働らかないから工場閉鎖をする。今直に引上げて貰ひたい」と御タクセンだ。

アザケルナ！いくら俺達が善良な労働者でも要求のただの一つも容れられないで、ハイ承知しましたと引下れるか。そんなおどかしで甘い手にのる俺達ではないぞ。俺達はダンゼンハネつけて、更に闘争を継続する事を宣言した。

七月九日職工全員に対して正式の工場閉鎖宣告並解雇通知状が来た。固より俺達は予定の行動と覚悟の前だ。サアガッチリと腕を組で戦へ！



山梨県会議長アワテル！

[illegible]日朝突然和田本宅へ押かけた。不意をくらって奥さん機転を利かして留守を使ったがオットドッコイの手はくはぬ。お父さん[illegible]川瀬山梨県前県会議長たる人に逢ひ面会を追求、せろと云ふ。俺達の追求にあってシドロモドロ、ふるへ作ら「和田は居るけれ共、来客だから工場の方で責任を持って無理に逢ふと云はせる。」それでも無理に逢ふと頑張ると御本体が[illegible]山梨県下[illegible]。「この上は[illegible]」と[illegible]なのに。その余りのあっさりした平凡さに引退げた。山梨県会議長も流石に[illegible]横浜の労働者の前ではオラが[illegible]飛ぶ鳥を落す[illegible]も失ふ惨めな狼狽振りだった。